

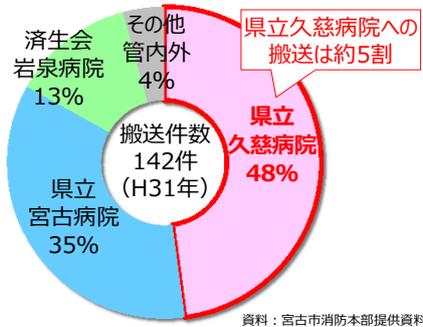
◆迅速かつ安定的な救急搬送を支援

三陸沿岸道路
田野畑北IC～普代
整備効果

救急搬送状況について

- ◆ 田野畑村からの救急搬送先のうち、約5割が第三次医療施設の県立久慈病院であり、搬送ルートとして国道45号を利用。
- ◆ 国道45号は急カーブ・急勾配が多数存在し、特に今回開通する並行区間では横揺れが発生。救急搬送時に減速を余儀なくされている。
- ◆ 今回の開通により、急カーブ・急勾配区間を回避した走行が可能となり、迅速かつ安定した救急搬送を支援。

▼宮古消防署・田野畑分署の搬送実績



▼田野畑村から県立久慈病院への搬送ルート・横揺れ発生頻度

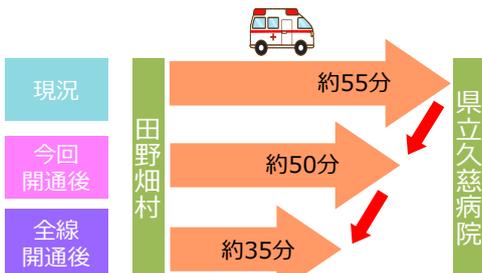


▼今回開通区間に並行する国道45号の急カーブ・急勾配区間



急カーブ区間が多く存在し、横揺れの発生頻度が高い

▼田野畑村から県立久慈病院への搬送時間の変化



《救急隊員の声》

- ・開通区間に並行する国道45号は、急カーブ区間が多く、減速を余儀なくされる。これにより、傷病者や救急隊員への負担が増える。
- ・今回の開通によって、安定した救急搬送が可能となり、傷病者や救急隊員の負担軽減に繋がる。



(R2.9 田野畑分署ヒアリング結果)

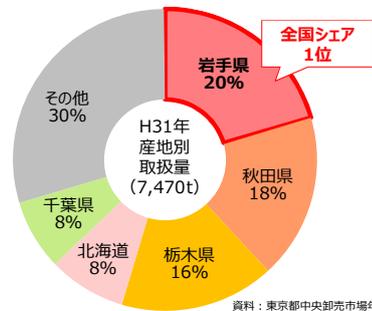
◆輸送効率化による 地域産業を支援

三陸沿岸道路
田野畑北IC～普代
整備効果

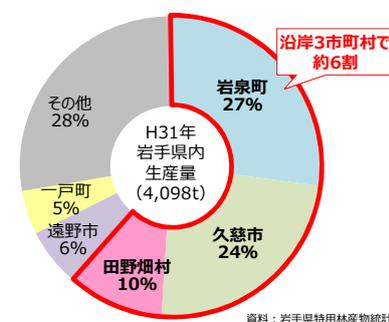
地域産業について

- ◆岩手県産生しいたけの東京都中央卸売市場シェアは全国第1位。岩手県では、沿岸3市町村の県内シェアが約6割で主要な産地。
- ◆田野畑村の生しいたけ生産企業では、三陸沿岸道路の整備による輸送効率化を見越して設備投資を行っており、出荷量が増加。
- ◆今回開通区間を含む三陸沿岸道路の開通で更なる出荷量の増加や新たな直販ルートの実現等、地域産業の振興を支援

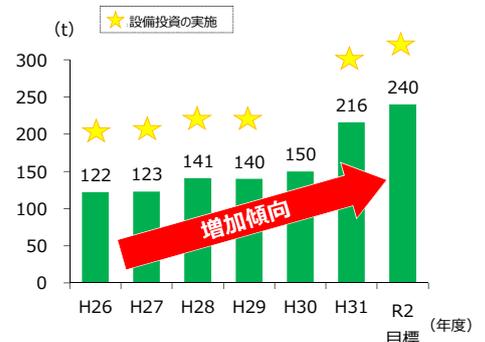
▼生しいたけの
東京都中央卸売市場シェア



▼生しいたけ（菌床）生産量の
県内シェア



▼田野畑村生しいたけ生産企業の
生しいたけ出荷量の推移



▼生しいたけの主な出荷ルート



《生しいたけ生産企業の声》

- ・三陸沿岸道路が順次整備されていることを勘案し、これまで設備投資を実施しており、今後も増産予定である。
- ・商品を輸送する際に、三陸沿岸道路を利用することで、国道45号利用時に比べて、想定以上に商品の傷みが少なくなった。
- ・三陸沿岸道路の整備が進んだことで、新たな直販ルートを試行中であり、現在の主な出荷ルート（JA経由）に比べて、配送先の選択肢の拡大や自社ブランドとして購入者との直接の価格交渉が可能になる。

(R2.9 田野畑村生しいたけ生産企業ヒアリング結果)

